

井出孫六さん阿智で講演会

24日 満蒙開拓記念館事業に向け

阿智村駒場に建設予定の「満蒙開拓平和記念館」事業に向け、直木賞作家で同館事業準備会の名誉顧問を務める井出孫六さんの講演会「中国帰国者の長い旅」（入場無料）が二十四日、同村中央公民館で開かれることになり、六日、同公民館と準備会が記者会見を中央公民館で開いた。

会見では、小野國明公民館長と準備会の河原進会長が出席し、講演会開催の趣旨や同事業の経過報告についても説明が行われた。

講演会は、村公民館が主催し、同準備会後援、飯田日中友好協会協賛。講師の井出さんは一九七五年に「アト

ラス伝説」で直木賞を受賞した一流作家。満蒙開拓問題についても訴訟原告団の一員になるなど精力的な活動を行っているっており、昨年十一月に同準備会の名誉顧問に就任している。

小野館長は記念館事業が進められる中、本年度に満蒙開拓団に関する事業を三回行ってきたことを強調。「満蒙開拓が国策として進められたこと、二度と起こしてはならない」ということを学ばなければならぬ」と力説した。



会見を行う小野公民館長（左）と準備会の河原会長

準備会側は記念館事業の経過について説明し、これまでに寄せられた寄付金は目標額の二億五千万円に対し、三千万円余に留まっている厳しい現状を報告。今後、国や県からの本格的な支援の実現、全国及び地元への寄付要請を強化していく方針を示すとともに「地域内外の人々が広く参加し、少しでも大きな輪で活動をしていきたい」（河原会長）と、準備会の会員を募

ることを明らかにした。会員の年会費は一人あたり二千円で募集人員は約五百人。会費は準備会の事務費用など活動費に充てられるという。また、建設スケジュールに関しては「二〇一〇年度中に基本設計を完了、十一年度中の着工を目指すとして、資金の集まりによっては、当初の設計から見直しも行う」としながらも、「（記念館は）一日も早く造らなければならぬ」「必ず造る」と、建設に向けて強い決意も示していた。同記念館建設資金の寄付または準備会会員などへの問い合わせは同準備会阿智事務所 ☎0265-55580、または専用ホームページ <http://www.danmoku-shinbun.com/>、<http://www.danmoku-shinbun.com/>。